

新年賀詞

甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を目指して、この憲章を定めます。

あふれる愛に	あなたも仲間
いろどる山河と	生きいき文化
こぼれる笑顔に	応える安心
うみだす活力	受けつぐ伝統
かがやく未来に	鹿深の夢を

新年、明けましておめでとうございます。市民皆様には、ご家族共々お健やかに新春をお迎えのことと心からおよろこび申しあげます。

昨年は、皆様の温かいご支援をいただき、無事に市制施行1周年を迎えることが出来ました。お寄せいただいたご厚情に心から感謝申しあげます。

合併協議により引き継いだ事務事業を最優先させながらも、二つの小学校の政策と学校給食センターの新築工事に着手し、義務教育環境の充実を図りました。さらに、就学前までの乳幼児の医療費の完全無料化、障がい者や、母子・父子家庭等に対する医療費の一部負担金の負担制度を創設するなど市独自の政策を実施し、市の将来を担う子どもたちが健やかに成長する環境づくりや後退なき福祉の推進に努めたところです。

甲賀市が一歩ずつ確実に力強く発展していくためには、逼迫する財政に向き合い、知恵を出しながら、様々な課題を乗り越えていかなければなりません。そして、今まで各地域で培われてきた特性を大切にしながら一体感を持たせ、市民憲章に掲げる「あい こうか」の理念のもと、甲賀市の魅力を醸成し磨きをかけていくことが重要であると考えます。

目指すまちづくりには、市民皆さんの参画が欠かせません。互いを思いやり、人権や尊い生命が重んじられる、愛に満ち溢れた人の輪を広げるため、今年もなお一層のご理解ご協力をお願いします。

新しい年が、市民皆さんにとりまして輝かしく幸多い年になりますことを心からお祈り申しあげます。

市民の皆様、あけましておめでとうございます。

皆様には心健やかに、新年を迎えられたことと心よりお慶びを申し上げます。

市民の皆様には、日頃から市政に対する暖かい御理解と絶大な御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、甲賀市の骨格形成を担う甲賀市議会議員として30名が選出され、本格的な甲賀市議会の稼働となりました。

甲賀市は多様な文化と悠久の歴史あふれるまちですが、抱える問題も多様であります。平成18年度の予算編成の時期を迎え住民の負託に応えるべく、市内の均衡ある発展を目指し執行部と議論を展開しておりますが、財政事情も厳しい折、よりの確な判断が要求されています。

今後においては、95,600人の甲賀市民が安心して暮らせるまちの構築が急務であることから、甲賀市の憲法ともいえる市民憲章が制定されたことに鑑み、甲賀市の羅針盤となる総合計画の策定が急がれるところであります。

甲賀市議会といたしましても、みんながつくる「住みよさと活気あふれるまち」の将来像を目指し、全力を傾注してまいりますので、今後とも倍旧のご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

甲賀市議会議長 服部 治男

甲賀市長 中嶋 武嗣